

内定者の声

～プロフィール & 試験対策 & 官庁訪問体験記～



令和3年度(2021年度)入省予定
環境省一般職理工系

はじめに

「内定者の声」を手に取っていたいただき、ありがとうございます。本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第一部では「内定者はどのような人か」、第二部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第三部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。ぜひご参考にしてください！

2020年12月 環境省一般職理工系内定者一同

《本冊子の構成》

はじめに

第一部 内定者のプロフィール (P.1~6)

- 基本データ（学科/専攻、性別、年齢、試験区分、就活スケジュールなど）
- 志望動機
- 環境省を志望される方へのメッセージ など

第二部 国家公務員採用一般職試験 体験記 (P.7~10)

- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

第三部 官庁訪問 体験記 (P.11~14)

- 環境省の官庁訪問について
- 官庁訪問参加による 体験記(質問形式)

おわりに

※ 環境省 Web サイトでも公開しております。
[\(http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html\)](http://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html)

《注意》

令和2年度の官庁訪問は、新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、リモートによる説明会・面接等が実施され、例年とは大きく異なりましたのでご注意ください。最新の情報については人事院国家公務員試験採用情報 NAVI (<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>) でご確認ください。

第一部 一般職理工系内定者のプロフィール

令和3年度入省予定の一般職理工系内定者は、**全2名**となりました。

第一部では、内定者のプロフィールや志望動機、メッセージなどを記載しています。

また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。

本誌をご覧になっているみなさまの就職活動のお役に立てれば幸いです。

内定した私たちはこんな人！

学歴



ミハイル

修士新卒

学部新卒

出身学科

工学研究科

生物環境科学科

男女

男

女



トサッコ

環境省の志望順

1番目

1番目

説明会に参加した回数：13回

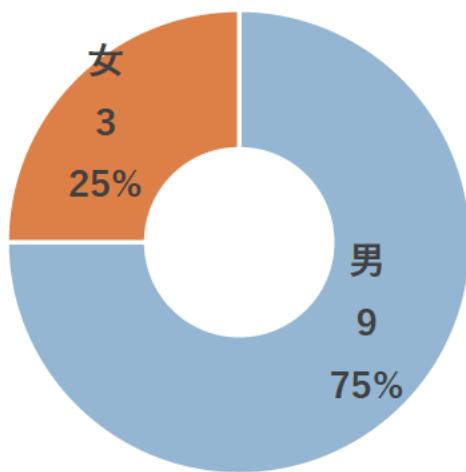
- ・ 関西地区公務研究セミナー（1回）
- ・ 環境省主催（理工系だけでなく事務系も）のwebセミナー（12回）

説明会に参加した回数：3回

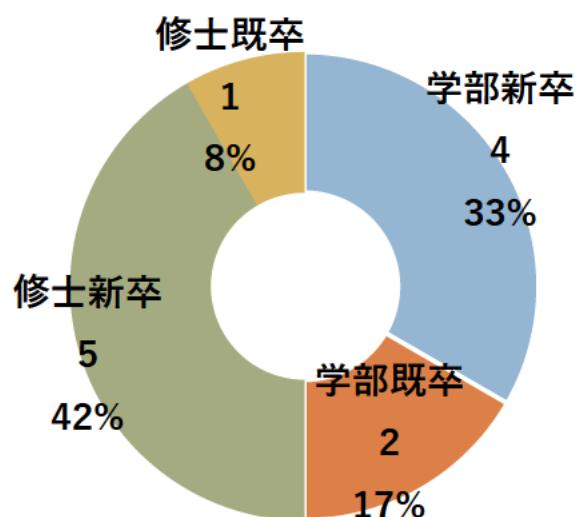
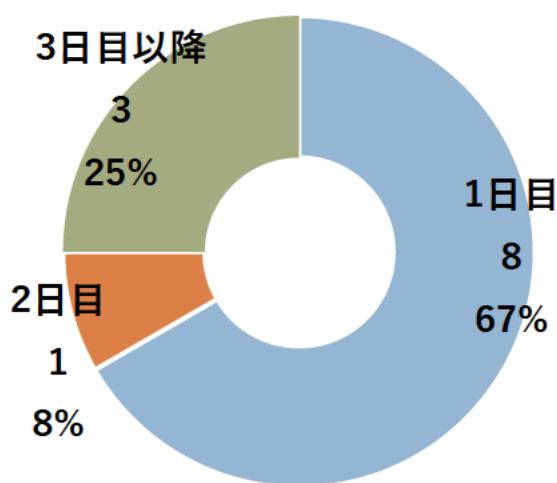
- ・ 公務研究セミナー（1回）
- ・ 環境省主催の業務説明会（2回）

過去 5 年分一般職理工系内定者の基本データ
 (グラフは過去 5 年間の統計を示しております。実際の人数、割合の順に示しています。)

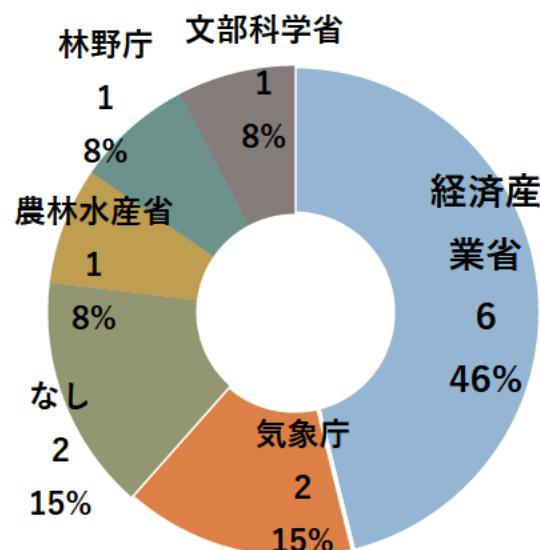
男女比（過去5年間）



最終学歴（過去5年間）

官庁訪問の訪問日
(過去5年間)

併願省庁（過去5年間）



ミハイル(修士新卒・男・24歳)

■ プロフィール

試験
物理

大学所在地・学科・専攻
大阪府・工学研究科
量子放射線系専攻

研究

太陽電池を用いた
廃炉用線量計の開発

部活・サークル
アメリカン
フットボール

併願進路(民間)
インフラ・
機械メーカー

併願進路(公務員)
なし

環境省で興味のある仕事
スペースデブリ化
防止対策

趣味・好きなもの
星を観ること・
合唱

座右の銘
Concentrate the
mind on the
present moment.

■ 就活スケジュール

民間就活

公務員就活

大学
1年

小さい頃から好きだった宇宙に関わる仕事をしたいと感じ、航空宇宙工学を学べる大学へ進学。

4年

衛星が受ける放射線について興味を持ち、放射線について学べる研究室へ。

大学院
1年

- 3月 岡山県で災害ボランティア活動に参加。
- 5月 大学内の公務員講座の受講を開始。最初は国土交通省・気象庁を考えていた。
- 6月 民間企業のインターンシップに参加し始める。
- 7月 今度は愛媛県で災害ボランティア活動に参加。
- 10月 公務研究セミナーで環境省を知る。

(数々の民間企業、地方自治体のインターンシップ・OB訪問に参加し続けることで自分の就活の軸が見えてくる。)

2年

- 2月 民間企業の選考が本格化。
(このころ民間・公務員・学会の3つを同時並行で進める。)
- 5月 民間企業に内定をもらう。
(ステイホーム期間にたくさんのWEB説明会に参加して各省庁の違いを知る。)
- 8月 国家総合職試験に最終合格するも、官庁訪問で不採用。
- ★ 10月 国家一般職試験最終合格
環境省内々定**

Club



大学4年間はアメリカンフットボール部に所属していました。攻撃の縁の下の力持ちであるオフェンスラインというポジションでプレーしつつ、チームの主務を経験したこと、プレー面だけでなく運営面でもチームを強くしたいという思いで活動していました。

志望動機

● 就職活動の軸

何世代先も安心して暮らせる社会の実現をめざしたい、という思いです。

● このような思いを持ったきっかけ

昨年岡山、愛媛での災害ボランティア活動を経験し、豪雨で流された新築の家、みかん農地の寸断の様子を目にしました。自分だけでなく何世代も先の世代でも、幸せに安心して暮らしていくために自分に何ができるのか、考えさせられる体験でした。

● なぜ国家公務員か

上のような社会を実現するためには、企業・地方・他国等の様々な関係者と調整していく役割が鍵を握ります。そのことに貢献できるのが国家公務員でした。

● なぜ環境省か

特定の事業領域に縛られず様々な側面から環境に携わることができ、また、業務が理系分野にとどまらない幅広さがあるためです。さらに他省庁でも同様に環境問題に関わることはできますが、環境を一番の軸として仕事ができるのはここだけでした。

■ 就活を通した成功談・失敗談

自分の就活の軸が定まったことで、民間でも公務員でもブレずに取り組めたことです。といっても初めから定まっていたわけではなく、民間・公務員の両輪で就活を進める中で逃げずに考え続け、漠然としていた思いが明確になっていったという感覚です。

面接の中では自己のことを伝えようとするので精一杯で、相手の質問の意図をうまく読み取れず、結果的に自分の考えを伝える前に終わり悔いが残る結果となることもありました。相手の意図を考えた上でどうやって自分を表現していくかを考えるべきでした。

■ 環境省を志望する方へ

面接の際自分の言葉で自分にしかない思いを話せるように、自分がなぜ環境省で働きたいのか考え続けてほしいと思います。そのためにノートを書くことをお勧めします。私も就活を始めて最初の方は自分の想いを言葉にしてみても、誰かが書いてくれたような文章しか出てきませんでした。これからみなさんも民間企業・地方自治体のインターンシップや公務研究セミナーなど、就活の中で自分の心を動かされる言葉に出会うはずです。その一つ一つをノートに書いておくことで、自分にしか書けない思いを書く際に役立ちます。そうやって自分に向き合った上で面接に挑めば、きっとみんなの思いは相手に伝わります。大丈夫です。応援しています。

Hobby



疲れた時は空を見上げ星をみます。宇宙の大きさに比べたら自分のうまくいかないことなんて小さいことに思えてきて、うまく行かないなりにも前を向いて明日も頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

トサッコ(学部新卒・女・22歳)

■ プロフィール

試験
化学

大学所在地・学科・専攻
愛知県・生物環境科
学科

研究
水田へのバイオ炭施用
がもたらす効果の検証

部活・サークル
バドミントン部・環境
サークル

併願進路（民間）
なし

併願進路（公務員）
なし

環境省で興味のある仕事
環境汚染物質の管理

趣味・好きなもの
バドミントン・漫画

座右の銘
何事も楽しむ気持ち

■ 就活スケジュール

民間就活

公務員就活

大学

1年

下宿開始、部活・サークル・大学祭実行委員などいろいろチャレンジ。

2年

- 7月 大学の実験・実習で環境行政の大切さを再認識

- 11月 環境省を目指す覚悟を決める。公務員試験勉強開始

3年

- 6月 公務員講座受講

公務研究セミナーや業務説明会に参加

民間就活よりも大学院進学を決める。

4年

- 7月 事前面談会参加、国家総合職試験不合格

8月 大学院入試合格

★ 10月 国家公務員一般職試験合格
環境省内々定

Animal



実家にやってくるメジロ。他にもヤマガラやヒヨドリも遊びに来ます。自然や動物にたくさん癒しをもらいました。

■ 就活を通した成功談・失敗談

アルバイトやサークルで、保護者や地域の人々と話す機会が多く、とっさの回答や対応に慣れていたのは良かったと思います。面接の際に、話が上手だねと褒めていただけたのはとても嬉しかったです。

■ 志望動機

動物が好きで、小さいころから多くの動物を救える仕事につきたいという考えを持ってきました。地球温暖化による生態系破壊や野生動物の絶滅危惧のニュースを知ったことをきっかけに環境問題に関心を抱きはじめ、改善のためには生態系の保全と環境に配慮した社会実現が必要であると考えました。そして、影響力の大きな国家機関による適切な制度作りの重要性を感じ、特に環境省が担う循環型社会を目指した政策作り、国際交渉、環境汚染物質の規制・管理など環境に焦点を当てた業務に強い意義と魅力を感じたために、環境省を志望しました。

■ 環境省を志望する方へ

環境省で働く人は、どんな人ですか。と職員の方に質問したことがあります。すると「環境を守りたいという熱い想いをもつ人」とお答えいただきました。それを聞き、自身もそういった人物でありたいし、そういう想いを持つ人々と共に働くことができる事を誇らしく思いました。「国家公務員」としての魅力だけでなく、「環境省」の業務のどこに魅力を感じ、なぜ働きたいかを自分の言葉で熱く説明することができるかが大事だと思います。少なくとも、私はそうしてきました。環境保全に興味を持ち、未来の社会を守ってみようと思いつつ読んでくださっている「あなた」へ。

今のため、未来のため、地球そのものを救うためのヒーローになりませんか！

やるべきことは少なくないですが、自分のやりたいことを見失わずに最後まで駆け抜けてください。ここまで読んでいただきありがとうございました。

面接間近という日に、カバンの破損や服装の不備に気づいてとても焦りました。ハプニングがあることも想定に入れて、筆記対策だけに気を取られず、時間があるときは面接の準備もこつこつ進めておいたほうがいいです。

Activity



サークルイベントと部活の写真。試験勉強を始めて、部活やサークルの活動は息抜きとして大事にしていました。